



### 丸木利陽(1854-1923)

写真の撮影時期: 明治末期～大正期

福井出身の写真師。明治～大正期に活躍した。東京で写真館を開業し、明治天皇の「御真影」を撮影したことから、「御用写真師」として知られる。明治20年代以降、天皇や皇族をはじめ、華族・官僚・軍人など当時の社会的な地位の高い人物の肖像写真を数多く撮影した。

また、丸木は多くの写真師を育てた。丸木の弟子たちは写真師として独立し、都市部や自らの地元で写真館を開業した。また、そうした写真師のなかからは、前川謙三(東京美術学校臨時写真科講師)、伊東末太郎(日本写真文化協会会長)ら、日本の写真界をリードする人材も現れた。

大正12年(1923)に丸木が他界した後も、弟子らによって写真館の営業はつづけられたが、震災復興の都市計画にかかり、廃業にいたった。

### 丸木利陽が撮影した肖像写真より



#### 明治天皇「御真影」

撮影時期: 明治22年(1889)

外国人画家、エドアルド・キヨッソーネが描いたコンテによる肖像画を丸木利陽が撮影したもの。明治天皇のいわゆる「御真影」として一般に広められた。

明治天皇(1852-1912): 日本の第122代天皇。慶応3年、14歳で即位。



#### 伊藤博文肖像

撮影時期: 明治29年(1896)11月

伊藤博文(1841-1909): 長州出身の政治家。明治18年、初代総理大臣に就任。日露戦争後、初代韓国統監となったが、訪問先のハルピンで暗殺された。